

いざない

平成24年（2012）3月31日

NPO 法人出雲フィンランド協会 出雲市多伎町多岐 884-5

Tel/Fax:0853-86-2928 E-mail:npotaki@icv.ne.jp http://izumo-fin.jp/

うれしいフィンランドの子供達からの励まし

理事長 石飛 友治

3. 11の東日本大震災は、まさに想像を絶する被害の大きさと、被災地の人達は言うに及ばず日本国民すべてを震撼させました。そして、死者行方不明合わせて二万人という大惨事に呆然自失したことは、まだ生々しい記憶として甦って来ます。

この比類なき大惨事に際し、日本各地はもとより世界各国から温かい支援が寄せられました。私たちの友好国であるフィンランドからも数々の支援があったことは、日本フィンランド協会ニュース9において早川専務が詳しく記述されおり、友好国の支援に心温まる思いで読みました。

私たち出雲フィンランド協会にも姉妹都市であるカラヨキ市のラウマンカリ小中学校の子供たちから被災地の子供達を励ますため、手作りの鯉のぼり5匹を贈ってくれました。鯉のぼりは、布製で1.8～2.5尺のもので縫いつけられた400枚のうろこの一つひとつには、フィンランド語や日本語、英語で「あなたたちは一人じゃない」「あきらめないで」などという励ましのメッセージが書き込まれていました。

当協会として、この善意の鯉のぼりをどこへ贈るかについて、熟慮した結果フィンランド友好団体連絡協議会で交流のある仙台フィンランド協会を通して仙台の学校へ贈りました。被災直後の混乱の中、仙台フィンランド協会、仙台市役所の尽力により市内の中野栄小学校に贈られました。関係者の連携よろしきを得て、5月5日のこどもの日を中心とし、小学校の屋上にへんぼんとして翻り被災地の人達を励ますことができたこと大変嬉しく思います。極難の中にあって善意のものといえど大変な労力を必要とすることをいとわず手配していただいた仙台フィンランド協会に感謝するとともに、フィンランド友好団体連絡協議会を通して仙台との繋がりがあったからこそ実現できたものです。フィンランドとの友好交流を進める上で、この協議会の有用性が証明された一幕でもあり、また協議会のさらなる充実のため努力したいと決意した次第です。

来年の協議会は、仙台で開催されることが決定しています。復興支援の気持ちを込めて、みんなで仙台に行きましょう。



ミリヤ・ヴィルタネン国際交流員活躍中



昨年8月に着任した第7代目国際交流員のミリヤさん、流暢な日本語を使いこなし、お料理作りやノルディックウォーキングなどの文化講座を通して会員をはじめ市民と交流し、多くの人々から親しまれています。

【国際交流員としての抱負】市民レベルでの異文化交流に興味があり、また全ての年齢の人に対してわかりやすく国際交流の仕事をしていきたいです。この仕事を通して、更に新しい技術を身につけ、生徒間交流やフィンランドで日本語や日本文化に関する情報を与えられる指導者として働くことに興味があります。

平成23年度出雲市-カラヨキ市派遣交流事業(第11回交流の架け橋事業)

出雲市⇄カラヨキ市

出雲市中生派遣事業 8月11日(木)～8月23日(火)



8月11日いよいよ出発式
家族や市・協会の関係者に見送られ
不安や期待を胸にいざ出発！
3回の事前研修を経て団員一致団結



8月15日在フィンランド日本国大使館
丸山大使表敬訪問
嚴重な警備により緊張した団員達だが、大
使からの質問にしっかり答えていた



いよいよカラヨキ市到着後、ホストファミ
リリーと自己紹介を交わす団員達。頑張
ってコミュニケーションとろうとする
も最初はなかなか難しい…



8月16日～21日市立小中学校を訪問し
授業体験。各校の歓迎会では緊張の中、
出し物の英語劇「桃太郎」と歌「カント
リーロード」を披露し、現地生徒が温か
く歓迎してくれた



管理団員の村上先生による理科の授業
今年度初めての試みとして授業に挑んだ先
生。特に身近な素材を使った実験は珍しい
ようで大好評だった



8月22日いよいよカラヨキを離れる日
ホストファミリーに見送られ、別れを惜
しむ全団員。またいつか再会を願って
「ナケミン！(またね)
キートス！(ありがとう)」

カラヨキ市⇄出雲市

カラヨキ市中高生招致事業 10月20日(木)～10月31日(月)



10月20日カラヨキ市からの訪問団
出雲市到着後ホストファミリー対面式
長時間バスや飛行機に乗って無事到着、
空港でスーツケースが出てこなかった
生徒もいて不安と緊張の中、対面



10月21日光中学校訪問。日本文化体験で
は琴、剣道、ゲーム「だるまさんが転んだ」
に挑戦！文化紹介を通じて互いに生徒と
の交流を楽しみました。映像を使って島
根、出雲市の紹介を受け、初日にふさわし
いプログラムで大好評！



10月24日～ホストファミリーと学校通学
各中学、高校に訪問し、日本の学校生活を
体験した。中にはセーラー服を着て通学
し、フィンランドにはない制服文化も体験
した団員もあり、とても喜んだ。部活体験
も行き、次第に交流の輪が広がった。



多伎町漁火太鼓同好会の協力により、和
太鼓も体験した。ばちさばきが難しく、
地元の子供達の動きを見よう見真似で
一緒に演奏した。衣裳も借りて、最後の
ポーズは決まった！



10月26日出雲市長表敬訪問各団員は上
手に日本語による自己紹介を行った後、
出雲市の印象やホームステイの様子な
どの質問に答えた。団長をはじめ、団員
の中には昨年仙台市に送った鯉のぼり
の制作に係った生徒もいた



10月26日歓迎交流会 ホストファミリー
や交流関係者が集い、手作りの食べ物を囲
んで交流を楽しんだ。初日の表情とは異な
り、みんな互いにコミュニケーションを取
り合い、滞在中を楽しんでいる雰囲気がか
がえた。お別れの時は互いに涙を流し、別
れを惜しみ、再会することを誓い合った

カラヨキ市立総合学校（小中学校）日本人講師中村由起子さん滞在レポート

私のフィンランド生活は、毎日が新しい経験の連続、一生の思い出になる充実した日々です。その中でも特に心に残っている出来事を紹介します。

学校が始まる3日前、日本で地震が起きたとのニュースをフィンランドで知りました。暗く沈んだ気持ちで迎えた学校初日、子供たちの笑顔は私を元気づけてくれました。この子達みんなと一緒に何か一つのものを作りたい、何か日本のためにできることはないか、考えた末に思いついたのが「こいのぼり作り」でした。フィンランドには可愛い生地がたくさんある、こいのぼりの鱗をいろんな布で作って、そこに子供たちみんなにメッセージを書いてもらって日本に送ろう！校長先生に相談したら、快く賛同してくださりすぐに行動。たくさんのクラスを回って日本で起きた地震のこと、子供の日のこと、こいのぼりのことを話しました。私の学校は小中一貫校で、就業前教育のクラスも一つ。うろこは中学生の女の子たちと一緒に作り、メッセージは幼稚園児から先生まで約350人分になりました。みんなのうろこはフィンランド語、英語、日本語、字や絵で埋め尽くされました。最終的に、日本の姉妹都市の協力のおかげで、フィンランドで生まれた5匹のこいのぼりは仙台にある小学校へ届けられました。彼らを書いてくれたメッセージを読んだ時の感動は忘れることができません。

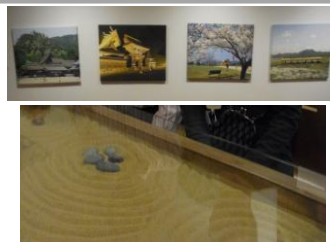


このこいのぼりは、昨年5月、当協会から仙台フィンランド協会を經由して多くの被災した子供たちが通う仙台市宮城野区中野栄小学校に贈られ、子供達をとて勇気づけました。その後、7月には駐日フィンランド大使ご夫妻が仙台を訪問された際、中野栄小学校へ訪問され、この鯉のぼりを児童に直接渡されるというセレモニーもあり、子供たちと交流を図られました。

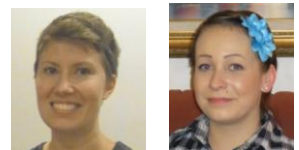
大人気！カラヨキ市の「会議室 | ZUMO」紹介



カラヨキ市のホテル内に会議室「IZUMO」と名付けられた和風の部屋が作られた。なんと椅子の足を取り座椅子に工夫され、掘りごたつ式で足をテーブルの下に下ろすスタイル



出雲市内の美しい写真が飾られ、出雲との交流を紹介。テーブルの中にはお寺の庭で用いられる岩と砂の流線模様が施され斬新な発想に驚かされる



この部屋のアイデアは出雲に滞在経験のあるヘイディ元国際交流員（左）とサトゥ・ラウトウンオヤさん（右）。お二人は国際交流員や派遣事業の経験を生かし、現在カラヨキ市の観光開発の分野の仕事に就き、活躍中

ノルディックウォーキング体験会 | N多伎



フィンランドに本部を構える国際ノルディックウォーキング連盟の日本支部であり、仙台市フィンランド健康福祉センター内に事務局を構えるNPO法人ノルディックフィットネス協会よりインストラクター富岡徹先生（名城大学教授）をお招きし、3月24日（土）体験会を開催。風の強い悪天候にも関わらず計40名の参加者（出雲・松江・広島など）が集いノルディックウォーキングについて学び、体験しました。歩いた後は国際交流員による手作りフィンランドデザートやブルーベリーの香りのコーヒー・紅茶をいただきフィンランドのスポーツや食文化に触れる貴重なひとときを楽しみました。

平成23年度主要事業報告

3. 25～4. 4	平成23年度高校生海外体験学習事業カラヨキ市訪問（高校生2名）
4. 16	4月のノルディックウォーキング体験会
5. 15	森下圭子さんを囲む交流会・講演会
5. 26	平成23年度出雲フィンランド協会総会、フィンランド食文化紹介
5. 21	5月のノルディックウォーキング体験会
7. 10	フィンランド料理教室
7. 16	7月のノルディックウォーキング体験会
7. 21	アヌ・ルースネン国際交流員送別会
8. 5	平成23年度出雲市-カラヨキ市派遣交流事業出雲市カラヨキ市訪問団結団式
8. 11～23	平成23年度出雲市-カラヨキ市派遣交流事業出雲市カラヨキ市訪問団出発式 派遣《団長、管理団員1名、通訳1名、中学生10名》
8. 19	ミリヤ・ヴィルタネン国際交流員歓迎会
9. 11	平成23年度出雲市-カラヨキ市派遣交流事業出雲市カラヨキ市訪問団帰国報告会
9. 29	フィンランド文化講座第1回目『フィンランド語に触れよう』フィンランド語講座
10. 15～26	友好姉妹都市カラヨキ市&たき小中学生絵画展（海辺の多伎図書館）
10. 20～30	平成23年度出雲市-カラヨキ市派遣交流事業 カラヨキ市出雲市訪問団招致《引率1名、中学生5名、高校生4名》 10.26 歓迎交流会
10. 22	全国フィンランド友好団体連絡協議会（福山市）[理事長、石飛副理事長、事務局長出席]
10. 29～30	多伎町文化祭カラヨキ派遣交流事業写真展
11. 1～7	フィンランド高校生エミリア・タブレスト来市、ホームステイ交流
12. 6	駐日フィンランド大使館独立記念レセプション [石飛副理事長、事務局出席]
12. 23	フィンランド文化講座第2回目『フィンランドのクリスマス会』
平成24年（2012）	
2. 11	バレンタインチョコ&フィンランド料理作り体験、木製小人トントゥ人形作り体験（コテージ）
3. 24	NPOノルディックフィットネス協会（JNFA）ノルディックウォーキング体験会IN多伎
3. 25	NPOノルディックフィットネス協会（JNFA）アクティビティリーダー養成講座



アヌ・ルースネン近況報告 「ひさしぶり～！アヌです。」

海士町に異動してからもう9ヶ月経ちました。海士町は自然が多くてきれいな海がある2,400人の良い人ばかりの小さい町ですが、本当に多伎町と似ていると思います。

国際交流員から外国語指導助手の仕事に変わって、仕事の内容も大分変わりましたから、慣れるまでに時間がかかりました。今はすっかり先生の生活にも慣れて、中学生と小学生の名前も覚えましたが、仕事も楽になりました。

出雲市で暮らしていた3年間を振り返ると、皆さんと一緒に遊んだ大切な思い出は、今では私の大切な宝物です。海士町で新しい思い出ももちろん作りますが、最初に出雲市に赴任して、3年間滞在できて運が良かったと思います。

これからも海士町で小・中学生の英語の指導で頑張ります。そして、もちろん時々出雲に遊びに来ます。皆さんも時間があれば、ぜひ隠岐の島の島前、海士町へ私に会いに来てください！

フィンランド国際交流員と一緒にノルディックウォーキングを楽しみませんか！

定例会開催中 日時：毎月第4土曜日午前9：00～10：00 集合場所：キララコテージセンターハウス

専用ポールを使ってストレッチしたり海岸周辺を1時間程度歩く集いにぜひご参加ください！

